

## かかりつけ医の経営戦略 ～成功の秘訣を紐解く～

まつい整形外科 桜坂スポーツ関節クリニック（福岡県福岡市）

### 第2回

# 装置選びの視点

# 患者さんに選ばれる

## 低磁場ながら高画質での撮像が可能な MRI装置の活用で 診療の質が向上し経営も安定化

まつい整形外科桜坂スポーツ関節クリニックでは、迅速な診断と治療方針決定という目指す医療を実現するために導入したMRI装置をフル活用し、質の高い診療を提供するとともに開業以来、順調な経営を続けています。導入したMRI装置の選定基準、日常診療における装置運用の実際から今後の展望まで、松井元先生にお話を伺いました。

松井 元 先生



### 集患上最適と考えた立地のテナントに 設置可能なMRIとして0.55T装置を選定

開業にあたっては、患者さんにとってアクセスが良く、来院してもらいやすい立地を選定することにこだわっていました。土地柄として移動手段に車を利用している人が多いことから、幹線道路に近く、かつ十分な駐車場が用意できること。一方で、公共交通機関を必要とする人のため、電車の駅やバス停からも近いこと。そうした条件に当てはまる場所として、以前から目を付けていたテナントに空きが出て、多くの方の協力をいただき、契約にこぎつけられた

のは非常にラッキーでした。

同時に、導入が必須と考えていたMRIの機種選定も重要なテーマでした。当初、候補としていた永久磁石タイプの装置は、重量が大きく選定したテナントには設置できないことから、また高磁場の1.5T装置も、十分な天井高とクエンチパイプの設置が必要なことから、選べませんでした。そこでそれらのハードルをクリアした装置として、0.55T装置を選定しました。



2023年6月の開業時より稼働している0.55T MRI装置MAGNETOM Free.Star

## 導入した0.55T装置では 患者さんのストレスが少ない検査を実施可能

高磁場のMRI装置は、検査中に撮像音を不快に感じる方や、体温上昇を感じる方もおり、患者さんにストレスをかけやすい検査機器だと思います。しかし、導入した0.55T装置で検査を行った患者さんからは、そうした撮像音に対する不快感や体温上昇を訴える声を聞くことはほぼなく、ストレスの少ないMRI検査を行えている印象があります。これもまた低磁場装置ならではのメリットではな

いかと考えています。

また、今回導入した装置では、CT-like imageの撮像が可能であることにも高い有用性を感じています。CT-like imageは、分離症の損傷部位における骨形態の詳細な確認に役立つMRIの撮像法です。CT検査と異なり被曝を懸念する必要がないため、繰り返し撮像することができ、正確な診断とフォローアップが可能になると思います。

## 開業以来MRIが集患にも大きく寄与し 月100件超の検査件数を達成

当院のMRI検査件数は開業以来増加を続け、現在は月平均120件に達しています。1日最大8件の予約枠を設けていますが、骨折や断裂、分離症を疑うケースなど、緊急の場合には予約なしでも検査に対応しています。開業時には1日約5件を目標件数とし、10年で導入コストを回収する計画を立てていましたが、その件数はすでに継続的に上回っており、計画より前倒しでコスト回収できる見込みです。当院を受診する患者さんにはMRI検査が受診動機であるアスリートの方が多く、MRI装置が集患の効果を発揮していると感じています。MRIの導入は、検査に付随して行う診療による収入ももたらすことを計算に入れ

れば、経営的なメリットが十分にあると実感しています。

ただし、来院患者数の増加に伴い、診療の待ち時間が延びていることが新たな課題にもなっています。今後、外来を担当する医師を増やすなど、診療効率の向上を目指した対策も講じていく必要があると感じています。開業以来、私が大事にしてきた、「MRI検査では情報量の多い撮像プロトコルによって納得のいく診断を行う」、「リハビリ治療では病態の定量評価によって患者さんに症状改善の実感を得てもらう」といった診療スタイルには、今後もこだわり続けたいと考えています。

## 自院の診療の特色を大切に周辺医療機関との 良好な連携のもと医療提供していきたい

スポーツ障害・外傷に対する診療とMRI検査を特色として打ち出している当院は、開業前に立地を選定する時点で、同様の特色を持つ整形外科クリニックが近隣に存在しないことを確認していました。ですから、周辺の整形外科クリニックと患者さんの獲得をめぐる競合関係にあるとは感じておらず、むしろ当院の持つ診療機能をより多くの地域の患者さんに還元するためにも、周辺医療機関との良好な連携が不可欠だと考えています。

現在、来院患者さんの大半は口コミをきっかけとする直接受診の方です。最近ようやくロードサイドの看板を1枚出した程度です。徐々にMRIを持たない整形外科クリニックからの紹介も多くなっています。MRI検査後の診療を含めて依頼され、そのまま引き受けるケースもありますが、患者さんの通院負担に配慮して、多くの場合は紹介元にお返ししています。

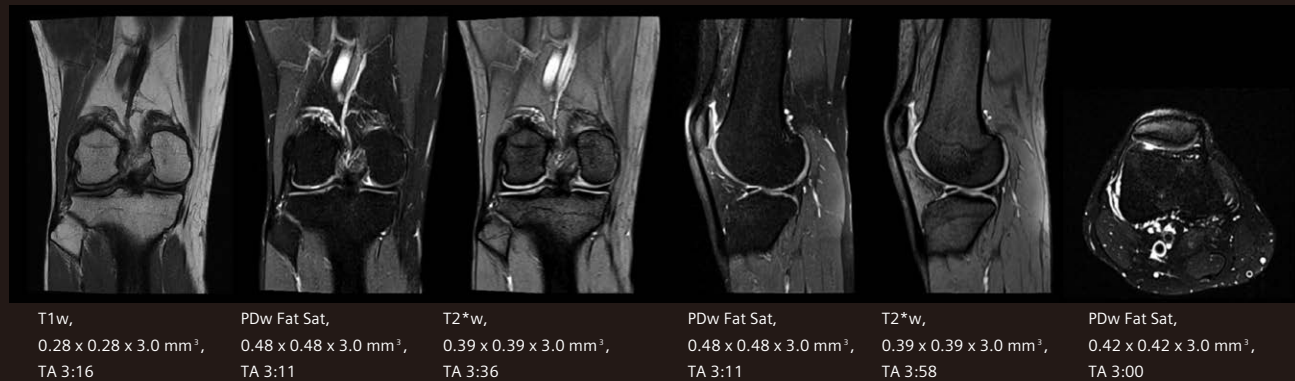
今後も、スポーツ医学やMRIを含めた当院の診療の特色を地域に広く知っていただくべく前面に打ち

出し、地域の先生方と協働しながら、当院ならではの役割を果たしていきたいと思うとともに、次のステージを想像し、ワクワクしながら診療に当たってまいります！

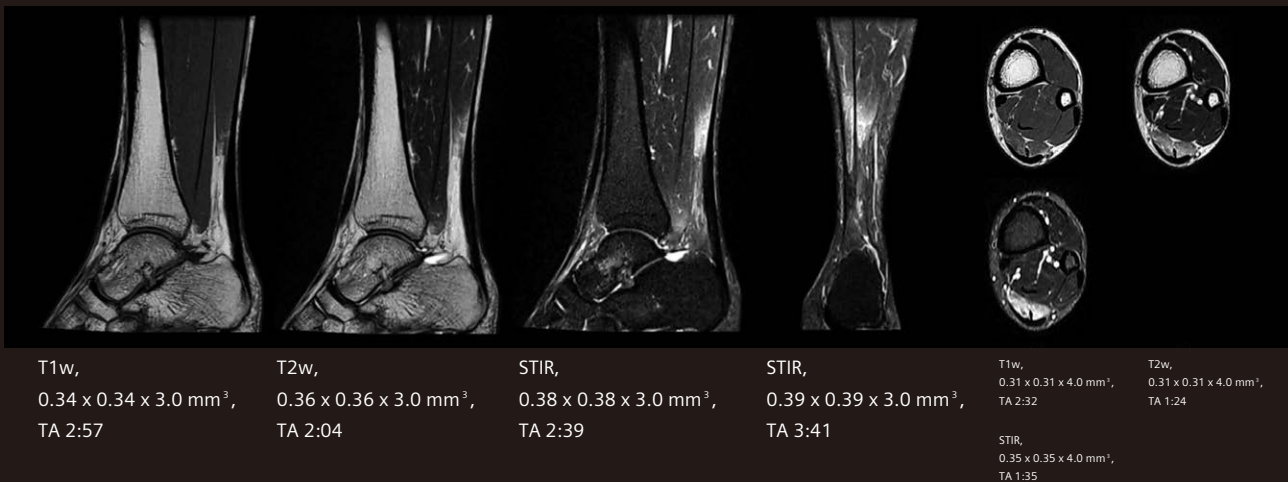


## 高磁場 MRI 装置に匹敵する 3mm Slice の高精細画像

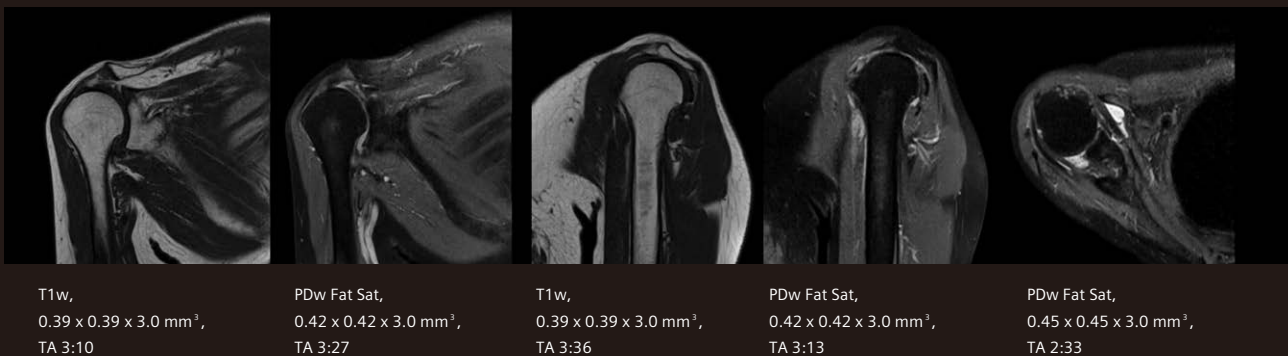
### 膝関節：外側骨軟骨損傷



### 足関節：ヒラメ筋肉離れ



### 肩関節：腱板損傷

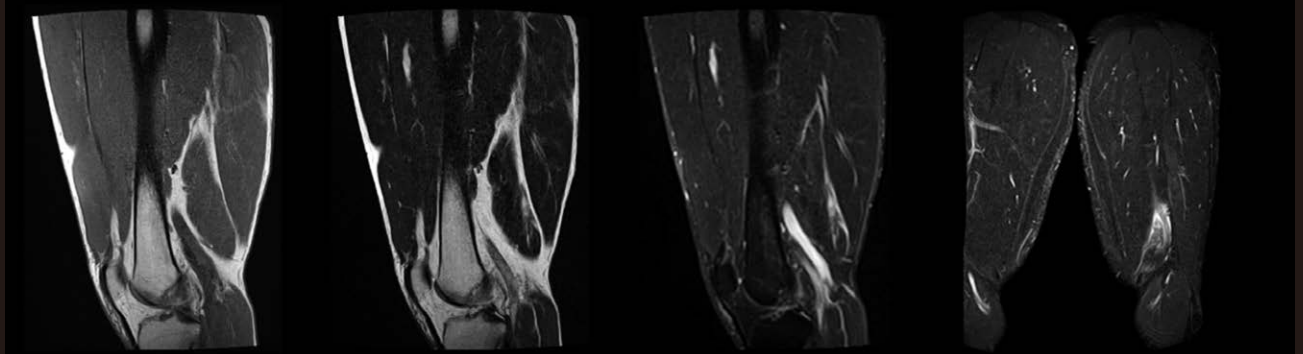


使用機器:MAGNETOM Free.Star 提供:まつい整形外科桜坂スポーツ関節クリニック



## 体軸方向400mm以上の広範囲画像

### 大腿:ハムストリングス肉離れ



T1w,  
322 x 430 mm<sup>2</sup>,  
0.58 x 0.58 x 5.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 1:46

T2w,  
322 x 430 mm<sup>2</sup>,  
0.58 x 0.58 x 5.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 1:39

STIR,  
322 x 430 mm<sup>2</sup>,  
0.90 x 0.90 x 5.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 1:46

STIR,  
400 x 400 mm<sup>2</sup>,  
0.83 x 0.83 x 5.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 2:23

### 下腿:腓腹筋肉離れ(2回撮像)



T1w,  
300 x 400 mm<sup>2</sup>,  
0.57 x 0.57 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 1:41 x 2

T2w DIXON in-phase & water  
300 x 400 mm<sup>2</sup>,  
0.60 x 0.60 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 2:43 x 2

使用機器:MAGNETOM Free.Star

提供:まつい整形外科桜坂スポーツ関節クリニック

## 最新のアプリケーションや撮像法への対応

### 腰椎：分離症(CT-like image)



T1w,  
360 x 360 mm<sup>2</sup>,  
0.45 x 0.45 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:20

T2w,  
360 x 360 mm<sup>2</sup>,  
0.42 x 0.42 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:45

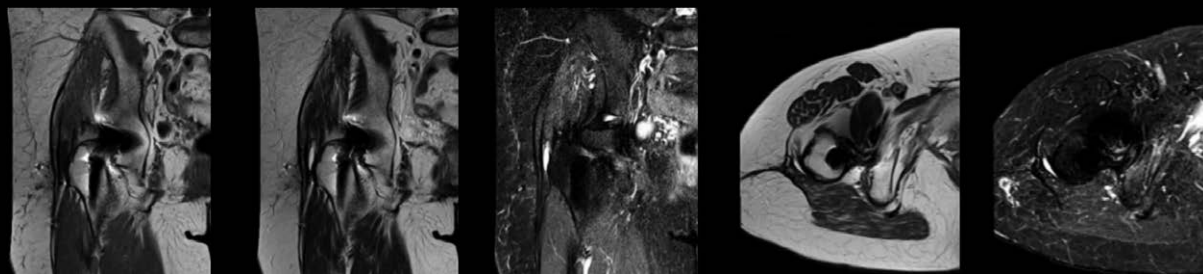
STIR,  
360 x 360 mm<sup>2</sup>,  
0.66 x 0.66 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:45

Bone Image,  
0.63 x 0.63 x 1.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 6:06

MPR 1.0 mm

MPR 1.0 mm

### 股関節：インプラント術後滑液包炎(金属アーチファクト低減)



T1w,  
0.66 x 0.66 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:34

T2w,  
0.57 x 0.57 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:48

STIR,  
0.52 x 0.52 x 4.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:41

T2w,  
0.57 x 0.57 x 5.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 2:57

STIR,  
0.54 x 0.54 x 5.0 mm<sup>3</sup>,  
TA 3:20

使用機器:MAGNETOM Free.Star 提供:まつい整形外科桜坂スポーツ関節クリニック

(2025年1月28日取材)